

食料生産地域再生のための先端技術展開事業技術展開方針検討会
(漁業・漁村実証研究：2回目) 議事概要

日時： 平成24年1月30日(月) 13:00~16:00

場所： 農林水産省 盛岡農政事務所 会議室

参加者(途中退席者含む)： 別紙1のとおり

<議事概要>

1. 農林水産技術会議事務局より、資料1及び資料2を使用し、平成24年1月23日(月)に開催した第1回検討会の概要、及び指摘事項と対応方針を説明した。外部有識者より、追加的に意見がある場合の取り扱いについて確認があり、本日の議事に合わせて議論を行うことを確認した。
2. 農林水産技術会議事務局より、資料3を用いて、個々の研究課題の相互関係等を説明した「事業戦略マップ」について説明し、その記載等について外部有識者より意見を頂いた(議論の詳細は議事録のとおり)。
3. 農林水産技術会議事務局より、資料4を用い、「公募研究課題(案)」の改訂版について説明し議論を行なった。資料4は、第1回検討会で使用した資料を、指摘を踏まえて改訂したものであり、以下の3区分で公募を行うことを提案した。
 - ① 天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究
 - (1) 漁海況予測情報、生態系予測モデルを活用した沿岸漁業技術等の実用化・実証研究
 - (2) 三陸沿岸の水産資源の増殖・養殖技術の高度化・効率化・体系化のための実用化・実証研究
 - ② 地域資源を活用した省エネ・省コスト・高付加価値型の水産業・水産加工業の実用化・実証研究
 - (1) 漁業関連先端技術の活用による省エネ・省コスト水産業の実用化・実証
 - (2) 水産資源の加工関連技術先端技術の活用による高付加価値型の水産加工業の実用化・実証
 - ③ 自然エネルギーを利用した漁村のスマート・コミュニティー化技術実用化・実証研究
 - (1) 漁業・漁村のスマート・コミュニティー化による災害に強い水産技術体系の実用化実証研究

これらに対し、外部有識者より、(議論の詳細は議事録のとおり)。本日頂いた意見、及び2月9日に行われる農業・農村型の第2回目の検討会における意見も踏まえた上で、農林水産省において研究事業の公募要領を調整し、公募を行うこととして承された。

3. 最後に参考資料にもとづき、今後の公募スケジュール(案)等の説明を行った。

(以上)

(別紙1) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業技術展開方針検討会
(漁業・漁村実証研究：2回目) 参加者

【外部有識者】

- ・ 關 哲夫 社団法人 農林水産技術情報協会 専門協力員
- ・ 大竹 二雄 国立大学法人 東京大学 大気海洋研究所
国際沿岸海洋研究センター センター長
- ・ 三浦 靖 国立大学法人 岩手大学 農学部教授
- ・ 木附 誠一 株式会社 三菱総合研究所 主席研究員

【参加者】

- ・ 大学、公設試験場、民間企業等 8機関より17名参加

【農林水産技術会議事務局】

- ・ 松田 紀子 農林水産技術会議事務局 研究総務官
- ・ 迫田 潔 農林水産技術会議事務局 研究推進課長
- ・ 島田 和彦 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室長
- ・ 土屋 博之 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携専門官
- ・ 嶋田 光雄 農林水産技術会議事務局 研究推進課 課長補佐